

議会報告会報告書

開催日時	平成30年4月18日(水)午後7時00分～8時48分	
開催場所	橋西地区市民センター	
出席議員	海住恒幸、松本一孝、赤塚かおり、坂口秀夫、野呂一男、中村良子、大平 勇	
	司会進行者	大平 勇
	報告者	赤塚かおり
	記録者	中村良子
参加人数	37名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 山本 芳 敬 様

平成30年4月26日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第1班

代表者 海住 恒幸

【第一部の主な質疑応答・意見等】

問 防犯カメラの設置補助金について、昨年の市のアンケートで前に進めてほしいと意見を上げた。アンケート結果を含め何も連絡がないのに、いきなり設置補助金が上がってきた。防犯カメラは自治会がというより行政が設置すべきものである。

答 アンケートでは84%以上の要望があったということで補助金制度を決めた。公園に設置した防犯カメラで防犯効果があったとしている。市としても設置していく方向である。

問 市民病院の在り方検討委員会において検討されたが、単独でやっていけるのか、それとも合併なのか、議会は結果が出てから聞くだけなのか。

答 在り方検討委員会は、専門家により平成29年6月から5回開催された。国の地域医療構想に伴い、将来においては経営的困難になることへのという懸念から3病院で議論することが必要となった。議会も特別委員会を設置しており、同時進行で検討していくことになった。

意見 「決まったのでそうですか」ということにはしないでいただきたい。

第2部用【地域防災について】

【主な質疑応答・意見等】

問 地域防災計画の中で、自治会が中心になって消防団とも話し合いに入ることになっている、要配慮者が避難所に行くのが困難な場合に、消防団は出動命令が出ればその現場に行かなければならないことを考えておいていただきたい。

答（議員1） 要配慮者をだれが支援するかは以前から課題である。大変な場所へ行っていただく消防団に誰それをとということにはならないと思う。

答（議員2） 花岡地区ではリヤカーを用意しており、自分たちで協力しあっている。

問 避難所における体の悪い人への配慮や、避難所を運営するためのHUGゲームについて、せっかく本（案内書）を作っていただいているので、学校の授業で取り入れていただくとういのではないか。

答 すでに学校において保護者等で活用されている。今後、進められていくと思う。

問 大雨の時、高齢者が多く避難勧告や指示が出てからでは間に合わない状況が続いているが、地元の西中学校には避難ができない。堀坂川の真裏に住んでおり、満水で流

木が流れてくる。大雨の時に西中学校に避難できない状況があるので、大雨でも地震でも避難所として開放してほしい。

答 避難所の開設の位置づけは、第一次が小学校、第二次が中学校となっているのが現状である。

問 避難所の収容人数について、松江小、橋西地区市民センター、子ども支援研究センターで900人程度である、大規模災害時には収容は大丈夫なのか心配である。

答 第三次避難所まで開設した実績はない。住民協議会で訓練し、それから市へ伝えていただく。防災計画は地域で立て、自主的な備えをしていただくということになった。

問 毎年、大雨により百々川周辺が浸水している。慢性的な水害を解決してほしい。県当局の誠意が見られない。

答 総合雨水対策10か年戦略で取り組んでいるが百々川、甚田川周辺への方向性は出ていない。議員もこの定例会で質問もしており、職員も頑張ってくれている。県当局へは行政と協力し要望したい。